



九条の会. ひがしなだ ニュース

第 75 号

2016 年 4 月

事務局 西谷利文 Tel 080-1485-5603 E-mail nishi-t@hm.h555.net

弁護士深草徹の「ここがポイント」

「国家緊急権条項」を排除した日本国憲法

日本国憲法に「国家緊急権条項」がないのは、何か不備があるかのような議論が一部になされています。しかし、決してそんなことはありません。

日本国憲法を逐条的に審議した第90帝国議会の帝国憲法改正案委員会において、当然ながら「国家緊急権条項」についても議論がなされています。その中で、憲法問題担当の金森徳次郎国務大臣が、何故この条項を規定しないのか明確に説明をして、承認されているのです。その要点は以下のとおりです。

- ①民主政治を徹底し、国民の権利を擁護することを目的とする日本国憲法にそぐわない。
- ②それが濫用され、憲法破壊につながる。
- ③非常時であっても、臨時議会の招集や参議院の緊急集会により対応できる。
- ④平素から法律を整備するなど準備しておけばそれで足りる。

この説明は、今日においてもそのまま通用します。「国家緊急権条項」の不存在は、日本国憲法の不備ではなく、むしろその先見性を示すものと言ってよいでしょう。日本国憲法に「国家緊急権条項」を規定せよ、という政府・自民党に、道理はありません。
(九条の会.ひがしなだ共同代表)



5・3は統一憲法集会

4月8日にプレ企画の決起集会

今年の憲法集会は、戦争させない、9条壊すな！5・3総がかり行動 兵庫県実行委員会の主催で、念願久しかった統一行動となります。「一人ひとりが、アベ政治の暴走にストップをかけよう！」と、午後2時から三宮・東遊園地で集会を開き、3時からパレード。

集会のメインスピーカーは、秋葉忠利・元広島市長で、参院戦候補者の来賓挨拶に続いて、シールズやママと有志の会など、各世代からの訴えがあります。

この統一集会の成功を目指して、4月8日（金）午後6時半から、神戸市勤労会館（三宮）大ホールで、プレ企画の決起集会。「憲法を守る力を作る～総がかり行動の意義と課題」と題して、清水雅彦・日体大教授が講演します。

さらに、4月12日（火）午後6時から、県下主要100駅で、全県いっせい宣伝を行い、文字どうり「総がかり」での成功を目指します。東灘区では前回までのJR「住吉」、阪神「御影」、阪急「岡本」に加えて、可能な駅頭への拡大が求められています。午後2時から、東灘憲法共同センターが、東灘区民センターで「200万署名 学習・交流のつどい」を開催し、目標総達成・戦争法廃止に向けて、“ラストスパート”をかける構えです。

特戦争体験を語る会（その11）

千葉さんの被爆体験に共感

2000万署名やり切ろう

九条の会.ひがしなだは3月5日、11回目の戦争体験を語る会を開き、広島での被爆者・千葉孝子さんが「戦争と原爆～今も続く放射能被害」と題して、核兵器廃絶と原発の廃止を、凛としてアピールしました。

千葉さんは冒頭、「原爆のすべてを表現している」と、峠三吉の詩「にんげんをかえせ」を朗読。最後は、自ら曲を付けたこの詩を、みんなで歌って締めくくるなど、異色の集いとなりました。

千葉さんは、「原爆手帳を持っている人が被爆者」と前置きして、差別を恐れて名乗り出られず、中高年になって申請しても証明不十分として却下される不条理を告発。近年は「原発事故の賠償・補償要求を抑え込むためか、原爆訴訟で敗訴が相次いでいる」と、警鐘を鳴らしました。

また、福島の子供が「自分は結婚できるのか。子どもを産めないのか」と悩む姿に、「自分と同じ。原爆と原発は同じと、もっと早く反対の声をあげていたら、何世代も続く被害は防げた」と、慙愧の念を表明。戦争法廃止の2000万署名をやり遂げ、「アベ政治を許さない」の声を一つに、と呼びかけました。



平和随想

教師にとっての「政治的中立」とは

久保 富三夫

安保法制をめぐる闘いの中で悲観に襲われたとき、SEALDsに代表される若者たちや若い母親たちの勇気ある活動に幾度も救われました。でも、私が身を置いている教育界や教員養成現場の実態を考えると、寒々とした気分になります。私は、山中恒さん（児童よみもの作家）が語る「ボクラ少国民～子どもたちからみた戦争～」（教育テレビ、2000年12月19日放送）を教職課程の授業でよく見せます。侵略戦争遂行に教師が果たした役割が鋭く問われている番組です。視聴後、学生の多くは「教師の仕事は恐ろしい」と言います。それはまともな感覚ですが、「国策（「戦争」のみならず）執行人」としての自らを自覚し、それに抗う懸命の努力をしなければ、多くの教師が再び「国策に従ったまでだ」と言うことでしょう。「憲法尊重擁護義務」を踏みにじって恥じない総務大臣や「停波」発言の言論弾圧性を自覚しない（？）総務大臣、等々が権力の座に居並ぶ今日、教師をめざす学生が肝に銘じておくべき必須事項。それは、『政治的中立』とは『政治権力の言説を児童生徒にそのまま垂れ流さないこと』です。

（帝塚山学院大学教授・和歌山大学名誉教授）



私のひとこと

平和への願い

米倉澄子

先の戦争から、70年が経ちました。激動の昭和から平成へと、気が遠くなるような年月が流れましたが、70年の間、感謝しなければならないことが、ひとつあります。

それは、日本に一度も戦争がなかったことです。戦争ほど悲惨なことは、ありません。平和ほど尊いものは、ありません。

戦後70年に当たる2015年には、毎日のように学校で、戦争体験を語ってきました。今の子供たちは、神戸に空襲があったことを知りません。戦争は、広島と長崎だけだと言います。ある日、地元の住吉小学校で6年生に、私の子供の頃の戦争体験を語りました。

あの戦争で、たくさんの若者たちが命を落としたこと、わが子を亡くした親御さんの悲しい姿をいっぱい見てきたこと……。今の子供たちに、「あなた達を生んでくれたお母さんを、悲しませるような世の中にならないように」と、必死に話しました。

子供たちは目に涙して、真剣に聴いてくれました。どうぞ二度と、あのような時代が、又と訪れせんように、祈ります。

(東灘区住吉山手、国民学校と学童疎開を考える会理事)



九条の会訪問記 (その50) 武庫川9条の会 休眠から脱し、合併で新発足 2000万署名に全力、平和と文化のつどいも



武庫川流域の尼崎市側の住民たちが3月12日(土)、「武庫川9条の会」を発足させました。発足総会では、あすわかの川元志穂弁護士が「憲法の危機と新しい流れ」を記念講演。

経過報告によると、2004年の著名9氏の呼びかけに応じて、尼崎の大庄・南武庫地域でも「9条の会・武庫川」「稲葉9条の会」などが結成されたものの、役員の病気などで、活動休止状態が続いていました。安倍政権による戦争法強行に反対する運動が盛り上がる中で、「地域でも9条の会ができないか」の声が高まり、昨秋から準備会を重ねて3月12日、「武庫川9

条の会」として、新たな歩みを始めたものです。

保育園長ら34人が呼び掛け人となり、中学校育友会会長ら7人の世話人会で運営。当面、戦争法廃止を求める2000万署名に全力をあげるとともに、4月29日には大庄地区会館で、平和と文化のつどい「沖縄を語る～トークと三線(サンシン)演奏」を予定しています。

催し物案内

ラッキィ池田さんと踊って学ぶ 親子DEケンポー！！

4月2日(土) 10:00開演(9:30開場)

西宮市民会館中会議室401(阪神西宮駅前)

おとな1,000円、小学生以下無料

主催:明日の自由を守る若手弁護士の会兵庫支部

(事前申し込み制 電話078・371・2060 吉江さん)

ドキュメンタリー「戦場ぬ止み」上映会

5月5日13:30~(開場13:00)

川西市中央公民館大集会室

主催:9条の会かわにし

問合せ:☎072・794・3320(竹村さん)

昨今の政治的状況は「安倍暴走政治」のオンパレードです。第一に去年強行採決された「戦争法」、アメリカの為に外国に戦争をしに行き、「殺し殺される」戦争法が強行成立しました。第二に TPP、「国民の福祉」よりも多国籍企業の「利益」を優先し、医療や保険、農業を破壊します。特に医療では、国民の健康を守ってきた国民皆保険を潰してしまいます。第三に「原発問題」。未だ 10 万人以上が避難する福島原発事故の教訓をわすれ、安全神話を復活させ「再稼働」を推し進めています。第四に沖縄辺野古の新基地問題。沖縄では「オール沖縄」でタッグを組み反対運動を続けていますが、海保や警視庁の機動隊の過酷な排除が続いています。

ただその無法に対して、燎原の火のように市民運動が拡大しています。我々も先の参議院選を見据えて、まずは「戦争法」廃止の為に「2000 万人署名」を頑張りたいと思います。

(神戸医療生活協同組合 番町診療所 所長)

提言 「2010 年代の社会運動～その経験と思想、課題」

K E N N Y

3月6日(日)に行われた学習会に参加してきました。講師の木下ちがやさんは、政治学者であると同時に、官邸前抗議の裏方など、市民運動を下支えしてきた人です。

今の市民運動について、60年安保闘争と比較して「かつては政党や知識人が主導する運動であり、政党の枠組みは変わらないまま学生が四分五裂したが、今は逆に強固な市民運動が政党の枠組みを超えた連合を作らせた」と指摘。あれだけ苦戦した政権構想が、予想外に踏み込んだ政策協定に繋がっていると評価。

この広がりには、沖縄での保革を超えた連帯、大阪での住民投票運動の経験が活かされています。また世界的にはエジプト革命、米オキュパイウォールストリート、台湾や香港での学生蜂起、スペインでの左翼躍進があり、日本の運動もその流れに位置づけられます。共通点は「組織があつて主導者がリードする運動」ではなく、「個人が SNS で水平的なネットワークを築き、自発的・主体的に行動する」というところでしょう。

そんな中で「九条の会」は、どんな役割を担うのか。今の流れに沿った動き方を考えたいところです。

カンパの郵便振替口座

口座記号 00900-6
番号 0217129
名義 九条の会. ひがしなだ

署名の返送先

〒658-0063
神戸市東灘区住吉山手 4-15-13
中村陽一

編集後記
★中国「残留日本人孤児」の国家賠償請求訴訟で、全国唯一の神戸地裁勝利判決から今年十二月で十周年。記念行事の企画立案が始まっており、少しでもお役に立てれば・・・。(田)
★編集担当のNさんが胆石のため入院されましたが、近日中に退院の予定です。宮崎で野党候補が一本化されました。この流れが奔流となりますように。(NM)